

	学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。 イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。 ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。 目的や場に応じて、資料を適切に用いながら、分かりやすく効果的な言葉で話したり、主題を押さえて聞き取ったりすることができる。 相手の立場を理解し、相手の考えを生かしながら自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。 《具体的な設定例》 ・グループやクラスの討議などで、相手の主張について、その根拠の適否などを確かめ、自分の考えに生かすことができる。 自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付き、自身の考えを広げ、深めることができる。
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を工夫して書くことができる。 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを説得力のある文章にまとめることができる。 （読書感想文などを書くにあたって）説明や描写を効果的に使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を考えて書くことができる。 自他の文章への評価を通して、自分の表現を高め、書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。

学習指導要領		国分寺高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	【現代文】 文章の表現技法や語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら読むことができる。 《具体的な設定例》 ・比喩法を理解し、文章中の比喩とその効果について説明できる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読などを通して味わうことができる。 【古典】 文章の形態の違いや特色を理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 《具体的な設定例》 古文 ・物語・随筆・日記・和歌などの違いや特質を理解して、それぞれの作品を読むことができる。 漢文 ・文章の内容や句法などの表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。 ・詩の形態や押韻を指摘し、対句について説明できる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	【現代文】 文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、説明したりすることができる。 《具体的な設定例》 ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分や含蓄のある部分について、詳しく説明・解説することができる。 【古典】 文語のきまりや訓読のきまりに従って、語句や表現に即して読み取り、内容を説明できる。 《具体的な設定例》 古文 ・用言・助詞・助動詞、敬語の用法、係り結び、和歌の

学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。 漢文 ・訓点・再読文字・置き字、主要な句法について理解して、文章を読み取ることができる。 【現代文】 登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方、生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。 情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。 【古典】 情景や登場人物の行動、心情、生き方などを読み取るとともに、情景描写の中にある心情の反映や象徴、物事の予兆としての表現などに気付くことができる。 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について理解し、書き手の主張や目的、手法をとらえることができる。 《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋を的確にとらえて説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張を読み取り、説明できる。 様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。

	学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。	日本の伝統的な言語文化について知り、また外国の文化の影響を理解し、主要な作品への影響を指摘することができる。 《具体的な設定例》 ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、勅撰集、歌物語などについて理解し、個々の文学並びに文学史について調べたり学んだりすることができる。 ・古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事、官位など）や価値観について理解する。 ・中国の文字や書物の影響（故事成語、漢詩、史伝・思想など）について理解する。 文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を正確に行うことができる。 《具体的な設定例》 ・歴史的仮名遣い、用言の活用（「恨む」「飽く」などを含む）、助詞・助動詞の意味・用法、係り結び、敬語の用法、和歌の修辞などを理解し、文法的に説明したり、本文の読解に役立てたりすることができる。 ・訓点、再読文字、置き字、句法について理解し、訓読したり、書き下し文を参考にして白文に訓点を施したりすることができる。 【現代文】 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について認識し、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・熟語の構成上の様々な関係について説明できる。 ・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解し、使い分けることができる。 ・言語の主要な機能を理解し、それが社会的、歴史的など様々な領域で実現されていることを理解する。

学習指導要領	国分寺高校 学カスタンダード
(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	【古典】 言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について理解する。 《具体的な設定例》 ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりし、その規則性を説明できる。 ・古今異義語の意味の変遷を理解し、言葉の成り立ちについて考えることができる。 【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。 《具体的な設定例》 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（概念、普遍、カテゴリー、マクロなど）の意味を理解する。 【古典】 古語辞典や漢和辞典を活用し、主要な古語や漢語の意味を理解する。 《具体的な設定例》 ・主要な古語（ほど、にほふ、あたらし、なかなかなど）100 語程度の意味を理解する。 ・主要な漢語（寧、如何、与、縦、若など）50 語程度の意味を理解する。 常用漢字の全てを読み、その大体を書くことができ、文や文章の中で使い慣れる。